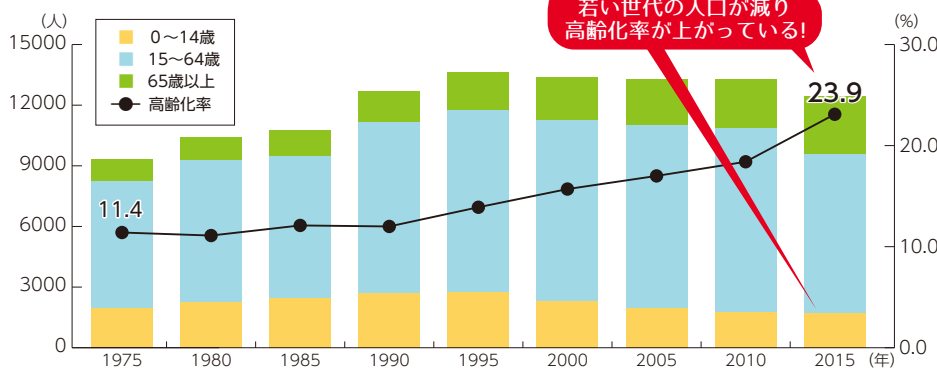


竜王町コンパクトシティ化構想の実現へ！

輝竜の郷づくり 新時代へのチャレンジ

なぜ、今「竜王町版コンパクトシティ」をめざすのか？

竜王町の人口と高齢化率



2030年の竜王町は…(予想)

- 人口は約**2割減少**
- **5人に1人が75歳以上**に
- 後期高齢者(75歳以上)のみ世帯は約**3倍**に

暮らしに合わせて
住むところが
選べるといいね



- ・自助(世帯の力)が低下
- ・共助(地域の力)が低下
- ・まち全体の力が低下

地域に
若い人や子どもが
少なくなったなあ…



生活の利便性向上とまちの魅力づくり、安心して暮らし続けられる地域づくりが必要！
そのため、新しいまちづくりの構想 **竜王町コンパクトシティ化構想** を進めます。

生活利便性の向上と町全体のバランスの取れた発展

子育て環境が
整った住宅地が
できるのね



〈中心核〉

- ◎ 交流・文教ゾーン(小学校・こども園・公園など)の整備
- ◎ 竜小の跡地に**住宅地**を整備
- ◎ 生活利便施設の整備

情報網の整備

ネットワーク

チョイソコリゅうおう
道路網の整備

〈地域コミュニティ〉

- ◎ 自治会機能の維持
- ◎ 若者世代の定住
- ◎ 高齢者世帯の安心

多世代の交流で
活気が出て
暮らしやすい
地域になったね



生活の利便性を高める中心核エリアを整備するとともに、生活の拠点である既存の集落・団地を維持しつつ、中心核とのネットワーク(情報網・交通網・道路網)を構築し、町全体のバランスの取れた発展をめざします。

竜王小学校を移転新築することとしたこれまでの検討経過

平成29年11月から1年4カ月をかけて竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会で竜王小学校をはじめとした教育施設のあり方について協議を重ねていただき、平成31年2月にその検討結果を町長に報告いただきました。報告書の中で竜王小学校については、老朽化や校舎の配置上の課題を解決するため既存校舎の長寿命化改修でなく建て替えによる新築とすること、現在の場所では敷地に制限があり駐車場の確保すらできないことから、新しい場所での建て替えとすることなどが提案されています。町としては、この報告書の検討結果を尊重しつつ、町が進める竜王町コンパクトシティ化構想の交流・文教ゾーンにおけるリーディングプロジェクトについて協議を重ね、令和元年7月に竜王小学校の移転新築を決定しました。

